

平成21年度 高原町立後川内中学校 学校関係者評価書

4段階評価 A 期待以上 B ほぼ期待どおり C やや期待を下回る D 改善を要する

評価項目	評価指標	学校の自己評価結果コメント	自己 評 定	学 校 関 係 者 評 定	学校関係者 評定コメント	
知育	学習指導	朝学習の時間を連続20分間確保し基礎・基本の学習時間を確保している。	「先生の授業は分かりやすく、よく理解できる」に「よくあてはまる」「ほぼあてはまる」と答えた生徒が96%いた。また、「生徒は、学力が身に付いているか」という問いに対して、「よくあてはまる」「ほぼあてはまる」と答えたのは、生徒が81%、保護者が92%、職員が90%であった。これは、分かりやすい授業改善をはかるとともに、朝の学習において、基礎学力定着のために内容を工夫したり、昼休みや放課後の個別指導の徹底が成果として出ていたようである。今後も、生徒の理解につながる指導を続けていきたい。	A	A	「授業中よく発表する方である。」の問いに対して、「よくあてはまる」「ほぼあてはまる」と答えた生徒が半数ほどしかいないのが気になる。自分の考えに自信を持って積極的に発表する生徒を育成して欲しい。 本年度より、勤務時間短縮のため朝学習の時間が従来の25分から20分に短縮になった事情が分かった。また、昼休みや放課後等を利用し、先生方が一人ひとりの学習に寄り添っていただいていることもよくわかった。 「子どもたちは、学力が身に付いている。」の問いに対して、「よくあてはまる」「ほぼあてはまる」と答えた保護者が93%であり、昨年度の58%から大きく伸びているのは、先生方の普段の努力であると思われる。今後も、個に応じた指導に努力して欲しい。
		全職員による授業研修会を実施することにより各教師の指導力向上が図られている。				
		各種学力調査の結果を分析し、個々の生徒の実態に合わせた学習指導が図られている。				
		年間指導計画に基づき、教育課程を適切に実施し、わかる授業が指導されている。				
徳育	生徒指導	教師と生徒及び生徒相互の好ましい人間関係づくりに努めている。	「生徒たちは学校へ行くのを楽しみにしている。」の問いに対して、「よくあてはまる」または「ほぼあてはまる」と答えた職員が100%、保護者が92%、生徒が78%で意識に差があるのが気になる。「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」と答えた、生徒、保護者への対応が今後の課題である。 「進んであいさつする態度が育っている」の問いに対し「よくあてはまる」または「ほぼあてはまる」と答えた職員が90%、保護者が88%、生徒が74%であった。生徒の回答が80%を切り、昨年度よりも下がっていることが気になる。「いじめのない学校」については、職員が100%、保護者が80%、生徒が93%であった。何らかの不安を抱えていると思われる保護者や生徒の存在に気付くとともに、生徒1人1人に気を配り、声かけ等をしていかなければならない。	B	B	大部分の生徒は、学校に行くのを楽しみにしているようであり大変好ましいことであるが、いじめなど何らかの不安を抱えている生徒と保護者が少なからずいることは残念である。このような生徒や保護者に先生方が気づいてフォローをして欲しい。 あいさつに対する中学生の自己評価が80%を切っているようだが、部活動の帰りや休日においても、中学生は良くあいさつをしていると思う。自己評価が80%を切っているのは、あいさつに対する自己評価を低くつけすぎの生徒がいることも影響しているかもしれないが、今後とも、自信を持って大きな声であいさつができる生徒の育成に取り組んで欲しい。
		あいさつなどの基本的な生活習慣を身に付けさせるための適切な指導を行っている。				
		人権教育に関する校内研修が年度計画に基づき、計画的かつ効果的に推進されている。				
		栽培活動を通して、基本的人権尊重の精神を養う指導がなされている。				
体育	体力づくり	自然環境を生かした体験活動を充実させ、体力の向上が図られている。	自然環境を生かした体力向上行事として、登山遠足、校内マップレース、ロードレース大会(校内長距離走大会)、及び1学年で農業体験学習を実施できた。また、新体力テストでは多くの生徒が自己記録の更新を達成することができた。 「部活動に積極的に取り組んでいる」の問いに対し、「よくあてはまる」「ほぼあてはまる」と答えた生徒は70%と、昨年度の76%-昨年100%から年々低下しているが、「あてはまらない」と答えた生徒については、競技力向上の行き詰まりや学習面との両立等の課題が考えられるため、今後とも支援を継続していきたい。また、生徒の自己評価が厳しくなったのではないかとこの側面も考えられる。 「食生活や健康で安全な生活、体力が身に付いている」の問いに対して、「よくあてはまる」または「ほぼあてはまる」と答えた職員が100%、保護者が96%、生徒が81%であり、いずれも高い評価であった。	B	A	天候等の影響で、当初の規模や計画で実施できない活動もあったが、農業体験学習や登山遠足、校内マップレース、ロードレース大会(校内長距離走大会)など、地域の自然や特色を生かした活動に積極的に取り組んでいることは評価できる。 「部活動に積極的に取り組んでいる」の問いに対して「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」と答えた生徒が24%もあり驚いたが、そのほとんどが、現役を退いた3年生の回答で、アンケートの取り方に問題がありそうだと安心して。次年度は、揺らぎのない質問項目として欲しい。なお、陸上部をはじめ、各部とも素晴らしい成果が上がっており、今後とも各部の活躍と先生方の支援をお願いします。
		体力向上に係る指導計画が策定され組織的に指導されている。				
		すべての生徒が運動部活動に入学し、組織的に指導されている。				
		食生活や健康・体力に係る指導が組織的・計画的に取り組まれている。				
環境教育	環境教育	地域の自然環境や人的環境を生かした環境教育が充実している。	環境に関しては、委員会活動の中で積極的に取り組んでいる。日頃の節電、紙リサイクル活動、節水ゴミ減量運動ポスターやエコはがきの作成など環境保全に関わる生徒の自主的な啓発活動を支援することができた。 「ゴミ分別や節電・節水など環境保全を考えた行動ができていく」の問いに対し、学校では「よくあてはまる」または、「ほぼあてはまる」と答えた生徒が89%であるが、同問いの家庭での取り組みは74%に留まっており、今後の課題である。	B	B	学校では、節電、紙リサイクル活動、節水ゴミ減量運動ポスターやエコはがきの作成など環境保全に関わる生徒の自主的な活動ができていくのに、家庭でのゴミ分別が低いのが気になる。 学校ではてきぱきとゴミを分別しているが、家庭ではゆったりとしていることが原因ではないだろうか。また、家庭では、家族全員の評価が含まれているのではないだろうか。 第2日曜日のリサイクルの日に、ゴミ分別作業を親子で一緒に活動することができるとう良いかもしれない。
		環境保全に係る指導計画が策定され組織的に指導されている。				
		環境保全に係る姿勢と行動が身に付いている。				
		環境保全に係る取組に対して、地域との連携が確立されている。				
キャリア教育	進路指導	3年間を見通した進路指導計画が策定され組織的に指導されている。	「進路学習などを通して、自分の将来のことをよく考えるようになった」という問いに対して、「よくあてはまる」「ほぼあてはまる」と答えた生徒が80%近くであり、生徒は自分の将来に対して関心をもっているようである。保護者の意見では、「将来のことをよく考えるようになった」については、生徒よりやや低かったものの、「家庭では、子どもと将来のことについてよく話合っている」という問いについては、80%以上であり昨年度に比べかなり多くの家庭で意識して会話していることが分かった。これからも、進路に関する指導の状況や、進路情報を積極的に家庭に発信し、学校と家庭の両面で進路指導できるように連携していきたい。また、1、2年次の生徒も高校説明会に参加させ、自分の進路に対して考える機会を設けているが、その説明会後に、「〇〇高校にぜひ行きたい」等の声も聞かれるようになった。進路を考える機会をこれからも多く設定し、早いうちから目標をもって生徒が努力できるように計画していきたい。	A	A	職場体験学習は、生徒の職業に対する意識を高めたり深めたりすることができるばかりか、事業所の方にとっても有望な人材を知る機会となりとても有意義な取組である。今後とも是非多くの職場体験学習の機会を生徒に与えて欲しい。 自分の将来の夢を発表する立派な志は、進路指導と大きく関わる行事であり、とても有意義な行事であると思われる。夢の発表と共に夢を実現するための方策等を考えさせ、自信を持って大きな声で発表させるとさらに良いのではないかと感じた。
		進路情報の提供が定期的になされており、その活用が積極的になされている。				
連携	小中・PTA・地域連携	小中合同の行事や地域の方々とともに活動する行事を計画的に取り入れている。	昨年同様に、小中合同の行事や地域の方々と共に活動する行事を計画的に取り入れている。「運動会や集まれサタデーなど小中合同の行事は充実して楽しい」という問いに対して、「よくあてはまる」「ほぼあてはまる」と答えた生徒は85%、「祭りや収穫祭など地域の方と取り組む行事は楽しい」という問いに対して、「よくあてはまる」「ほぼあてはまる」と答えた生徒は、95%以上であった。ほとんどの生徒は、小中合同の行事や地域の方々との交流を楽しんでいる。 また、「授業参観や懇談会に積極的に参加するよう心がけている」という問いに対して、「よくあてはまる」「ほぼあてはまる」と答えた保護者は90%以上で昨年よりもかなり増えている。 「PTA活動や地区の行事に積極的に参加するよう心がけている」という問いに対して、「よくあてはまる」「ほぼあてはまる」と答えた保護者は80%以上で昨年よりも増えた。これからは行事を見直し、改善して、保護者の協力を得られるような行事内容等を検討していきたい。	B	B	小中合同の行事や地域の行事への保護者の参加がアンケートでは高いようだが、参加する人はきまっているなど実際の参加の様子を反映していないように思える。協力できることは協力しようとする意識や参加しようとする努力する保護者を増やすことが保護者に求められていると思う。 小中合同の行事や地域の行事を生徒たちが楽しみにしている様子がよく分かった。本来、家庭教育や社会教育で運営する行事に対して、先生方の協力をいただき成り立っている事も多く感謝している。また、本地域の地域性を考慮し、多数の先生方の参加も是非お願いしたい。 本年度は、実施できなかった収穫祭のように、小中合同で行える行事や1日に集約できる行事などを工夫し、行事数を増やさずに、参加数を増やす努力をしていくことが大切であろう。
		小中合同のPTA活動や地域行事への協力体制が確立している。				
		小中連携の研究会を計画的に行っている。				

【総評】

1 本年度の取り組みについて
どの項目においても、学校が熱心に取り組んでいる様子がよくわかった。
特に、学習面では、子どもたちに学力が身に付いていると答えた保護者が昨年度の58%から大きく伸び93%となったことは、先生方の普段の努力であると思われる。
また、体力づくりにおいては、天候等の影響で、当初の規模や計画で実施できない活動もあったが、農業体験学習や登山遠足、校内マップレース、ロードレース大会(校内長距離走大会)など、地域の自然や特色を生かした活動に積極的に取り組んでいることは評価できる。

2 次年度の取り組みについて
本年度の取り組みを基盤に、次年度は以下の点を注いでいくと更に良くなるものと思われる。
学習と部活動の両立を目指したきめ細やかな指導を行い、生徒一人一人が楽しく活気ある学校生活を送れるよう指導・援助していくとともに、各自が自信を持って大きな声で、あいさつや発言できる生徒を育成する。
小中合同で行える行事や1日に集約できる行事などを工夫し参加者の負担を軽減すると共に、学校と保護者・地域が連携することにより、各行事の参加者を増やし今まで以上に協力体制を築いていく。